

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひえだきっず		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	サポートも含め、一人に対して一人以上の職員を配置し対応している。	集団が苦手な特徴を持つ子供に対しては、職員が多くなり過ぎないように、他の子供のサポートに充てるなど配置を工夫する。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	どの曜日に通所しても様々な活動プログラムに参加できるようにランダム化している。	個々の成長状況に合った支援ができる様に職員全員で達成度を毎回確認する。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	毎回の教育内容が保護者に伝わるようにSNSを利用し、写真付きで公開している。	自己評価総括表を保護者全員に配布し、より良い活動報告の配信できる様取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	保護者の多くが共働きのため、スケジュール調整や時間を取って頂くのが難しい。	個別支援計画書作成時の保護者への聞き取り調査票で、面談希望の有無を載せニーズがあれば面談を行っていく。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	送迎時に行う活動報告の際に話し合いで済ませてしまっている。	研修会等の案内を目の付きやすいところに掲示したり、声掛けをして参加を促していく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	ほとんどの利用児が通所後に毎日登園しているため、特別に機会を設けようとしていない。	地域のお祭りには参加しているが、機会があれば他の地域活動にも積極的に参加していきたい。